

IOTを活用した再生住宅



横浜市内やその近辺にある空き家を利用し、
地球環境に配慮した住宅だけでなく、
IOTを活用した住宅に再生、再利用することを目的とします。

住宅設備や家電などにインターネット接続し、一台のタブレットにて遠隔操作ができる住宅づくりを目指します。

共働き世帯の増加や男性の育児参加により家事の時短化や省力化が求められています。

また、共働きにより子供が一人で家にいる時間が増えている現在、IOTを活用し、防犯の観点からも遠隔により子供の様子を
確認できる設備が必要となっています。

そして、自分や家族の健康管理や、高齢者支援、介護支援など幅広く利用できることから、これからの暮らし方としてIOTは必須となるように思います。



今後の目標

2030年までに
3棟の再生を目標としています。